

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	水道メーター設置環境整備業務事業			事業コード	1229
所属コード	903000	課等名	上下水道局給排水課	係名	サービス係
課長名	高橋敏晴	担当者名	栗谷川克寛	内線番号	6134
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード	5
	基本事業	安定給水の確保	コード	1
予算費目名	水道事業会計 01 款 01 項 40 目 水道メーター設置環境整備事業 (019-10)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 63 年度	
根拠法令等	水道法, 計量法			

(2) 事務事業の概要

給水装置に設置されている水道メーターの交換不能の是正及び難検針箇所は是正等のため、水道メーター設置環境の整備を行うもの。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

止水栓不良及び水道メーター接続配管部分の老朽化等により、水道メーター交換が困難な状況から、水道メーター周辺環境を整備するため開始された。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

建物の増改築等のより、難検針箇所が発生している。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

給水装置に設置されている水道メーターの設置箇所

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度 計画	23 年度 実績	26 年度 見込み
A 給水装置に設置されている水道メーター設	箇所	120,251	128,754	128,754	130,163	130,163

置箇所						
B 検針業務を行っている給水装置の数	箇所	824,962	859,026	859,026	863,831	863,831
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

水道メーター交換業務に伴う交換不能箇所、難検針箇所、異常メーター等発生の報告を受け、修繕業務を実施し水道メーター設置環境を整備する。

・現地調査を行った後に

①指定給水装置工事事業者へ修繕業務委託

- ・水道使用者との連絡調整
- ・現地立会
- ・完成確認および業務費の支払い

②直営で修繕

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 水道メーター付近の環境整備を行なった箇所（水道メーター交換に伴う修繕必要箇所、難検針箇所、異常メーター等の発生箇所）	箇所	302	249	240	198	198
B 物積、積雪等による検針不能箇所（延件数）	箇所	6,309	44,704	6,000	23,987	6,000
C 誤検針を行った検針箇所（延件数）	箇所	496	290	0	130	0

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

水道メーター付近の環境を整備することにより、検針業務の円滑化を図る。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 給水装置に設置されている水道メーター設置箇所のうち水道メーター付近の環境整備を行なった箇所の割合率（整備箇所／設置箇所）×100）	□上げる □下げる ■維持	%	0.25	0.19	0.19	0.15	0.15
B 検針業務を行っている給水装置の数のうち、物積・積雪等による検針不能箇所（延件数）の割合率（検針不能箇所／検針箇所）×100）	□上げる ■下げる □維持	%	0.76	5.20	0.70	2.78	0.69
C 検針業務を行っている給水装置の数のうち、誤検針を行った検針箇所（延件数）の割合率（誤検針箇所／検針箇所）×100）	□上げる ■下げる □維持	%	0.06	0.03	0.00	0.02	0.00

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他()	千円	20,678	19,699	18,715	12,905
	A 小計 ①～⑤	千円	20,678	19,699	18,715	12,905
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,490	1,490	1,490	1,490
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	5,960	5,960	5,960	5,960
計	トータルコスト A+B	千円	26,638	25,659	24,675	20,355
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

水道メーターの設置環境を整備することにより、安全でおいしい水を供給できる。

② 市の関与の妥当性

市が行う事業であり、関与は妥当である。

③ 対象の妥当性

内部管理事務であり対象は妥当である。

④ 廃止・休止の影響

ライフラインのひとつであり廃止・休止することはできない。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

水道メーターの交換不能箇所や難検針箇所が発生する都度に環境を整備しており成果を上げる余地はない。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

公正である。

(4) 効率性評価

現地調査を行ったうえ修繕工事の必要性があるかどうかを判断し、かつ適正な基準単価で行

っていることから、経費の削減は困難である。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

お客さまへの PR, 検針員の指導など, 今後改善することはある。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

積雪で検針できないことなど, 天候に左右されることがある。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持 (従来どおりで特に改革改善をしない)
- 改革改善を行う (事業の統廃合・連携を含む)
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

安心・安全な水道水を供給し正確な料金を算定するため, メーター回りの環境整備については, 指定給水装置工事事業者へ修繕工事として委託し, 適切な検針環境の確保に努めてきた。

今後は, 経済性や効率性の観点から, より効果的な発注方法について検討を進める必要がある。